

# 動物実験施設

## 1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在
教授	0 人
准教授	1 人
講師（うち病院籍）	0 人（0 人）
助教（うち病院籍）	2 人（0 人）
助手（うち病院籍）	0 人（0 人）
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人
医員	0 人
研修医	0 人
特任研究員	0 人
大学院学生（うち他講座から）	0 人（0 人）
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技術職員（教務職員を含む）	2 人
その他（技術補佐員等）	8 人
合計	13 人

## 2 教員の異動状況

- 1) 加藤 秀樹（准教授）（H10.12.1～19.3.31 助教授；19.4.1～現職）
- 2) 高林 秀次（助教）（H15.11.1～H19.3.31 助手；19.4.1～現職）
- 3) 記野 秀人（助教）（S53.6.16～H19.3.31 助手；19.4.1～現職）

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	2 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	3.13
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編
そのインパクトファクターの合計	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編（0 編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

Takabayashi S, Nishikawa T, Katoh H: A Novel *Kit* Gene Mutation in CF1 Mice Involved in the Extracellular Domain of the KIT Protein. *Exp Anim*, 61, 435-444, 2012. [0.922]

インパクトファクターの小計 [0.922]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

該当無し

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

Kitaura K, Fujii Y, Matsutani T, Shirai K, Suzuki S, Takasaki T, Shimada S, Kametani Y, Shiina T, Takabayashi S, Katoh H, Ogasawara K, Kurane I, Suzuki R: A new method for quantitative analysis of the T cell receptor V region repertoires in healthy common marmosets by microplate hybridization assay. *J Immunol Methods*, 384, 81-91, 2012. [2.203]

インパクトファクターの小計 [2.203]

## (2) 論文形式のプロシーディングズ

該当なし

## (3) 総 説

該当なし

## (4) 著 書

該当なし

## (5) 症例報告

該当なし

## 4 特許等の出願状況

	平成 24 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

該当なし

## 5 医学研究費取得状況

	平成 24 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	1 件	(100 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	( 0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	( 0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	( 0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	1 件	(126 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0 件	( 0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

加藤秀樹 (分担者). 新学術領域研究がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動、100 万円 (継続) 代表者 東京大学医科学研究所 今井浩三

(2) 厚生労働科学研究費

該当なし

(3) 他政府機関による研究助成

該当なし

(4) 財団助成金

該当なし

(5) 受託研究または共同研究

記野秀人 (代表者). 特定波長の可視光及び紫外線照射による寄生虫 (卵) のデジタル画像での検出研究. 株式会社エヌ・シー・ディ. 平成 23 年 3 月 15 日～平成 25 年 1 月 31 日、126 万円

## 6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

該当なし

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	1 件
(5) 学会役員等回数	1 件	3 件
(6) 一般演題発表数	2 件	

(1) 国際学会等開催・参加

5) 一般発表

口頭発表

該当なし

ポスター発表

1. Kino H, Hirano K, Kurimoto A, Tsuge T, Villacorte E, Pates I, Bohol D and Leonardo L: Development of a Technique to Identify Helminth Eggs Based on their Unique Fluorescence Following Irradiation of Light with a Particular Wavelength. The 5th ASEAN Congress of Tropical Medicine and Parasitology, May 2012, Manila (Philippines)
2. Katoh H, Takabayashi S. Studies on blood groups of common marmoset (*Callithrix jacchus*) using reagents detecting human blood groups. 5rd AFLAS (Asian Federation of Laboratory Animal Science), 10-12 October 2012, Bangkok (Thailand).

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

第 17 回静岡県寄生虫研究会研究総会開催、2012 年 9 月、浜松市

2) 学会における特別講演・招待講演

該当なし

3) シンポジウム発表

該当なし

4) 座長をした学会名

該当なし

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

記野秀人：静岡県寄生虫研究会 会計

加藤秀樹：日本実験動物技術者協会・常任理事

公益社団法人日本実験動物学会学術集会委員会・委員

加藤秀樹：International Council for Laboratory Animal Science, a member of Laboratory Animal Quality Network

### 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

(1) 国内の英文雑誌の編集

該当なし

(2) 外国の学術雑誌の編集

該当なし

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー（reviewer）

加藤秀樹：1 回、Experimental Animals（日本）

加藤秀樹：1 回、Journal of Veterinary Medical Science（日本）

### 9 共同研究の実施状況

	平成 24 年度
(1) 国際共同研究	1 件
(2) 国内共同研究	3 件
(3) 学内共同研究	0 件

(1) 国際共同研究

記野秀人. Development of a Technique to Identify Helminth Eggs Based on their Unique Fluorescence Following Irradiation of Light with a Particular Wavelength.

相手機関：Department of Parasitology, College of Public Health, University of Philippines Manila (Philippines).

研究期間：Nov. 2011 ～.

様式：株式会社エヌ・シー・ディと 3 者の共同研究であり、2011 年度は機器をフィリ

ピン大学に持ち込みデータ収集を行った。

(2) 国内共同研究

- 1) 加藤秀樹. 実験動物のクローズドコロニーに関する遺伝学的研究 (公益財団法人実験動物中央研究所 野村達次).
- 2) 加藤秀樹. コモンマーモセットの遺伝学的研究 (財団法人実験動物中央研究所伊藤豊志雄、野村達次)
- 3) 記野秀人. 静岡県産アユにおける異形吸虫類の感染状況 ((財) 静岡県予防医学協会)

(3) 学内共同研究

該当なし

## 10 産学共同研究

	平成 24 年度
産学共同研究	1 件

1. 記野秀人. 特定波長の可視光及び紫外線照射による寄生虫 (卵) のデジタル画像での検出研究. 株式会社エヌ・シー・ディ. 平成 23 年 3 月 15 日～平成 26 年 1 月 31 日.

## 11 受賞

- (1) 国際的な賞等の授賞について、タイトル、機関・学会等についてお書きください。

該当なし

- (2) 外国からの名誉博士号、客員教授、名誉教授、名誉会員等の称号の授与について、称号名、機関、国名をお書きください。

該当なし

- (3) 国内での授賞について、受賞者名、賞の名前、授賞年月をお書きください。

該当なし

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

(1) コモンマーモセットの人工授精法の開発 (高林秀次)

コモンマーモセットのメスの雌性ホルモンを測定して、性周期を把握し、排卵予想日に、オスから採取した精子を経膈より注入する経膈人工授精法を開発した。

(2) コモンマーモセットの MHC 領域マイクロサテライトマーカーの開発 (高林秀次)

コモンマーモセットの第 4 染色体上に存在する主要組織適合遺伝子複合体 (MHC) 遺伝子領域約 4.2Mbp 上に 7 つのマイクロサテライトマーカーを開発した。浜松医科大学が飼育している約 120 頭および日本クレアの個体約 100 頭について遺伝子型を判定し、ハプロタイプを解析した。

(3) コモンマーモセットの遺伝学的研究 (加藤秀樹)

コモンマーモセットの赤血球抗原をヒト血液型判定用抗体を用いて研究した結果、抗-A 抗体で陽性を示す個体が存在することがわかった。現在、その抗原の遺伝性について研究を行っている。

**13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発**

該当なし

**14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性**

下記の研究課題については継続して実施している。成果については12を参照のこと。

1. 加藤秀樹. 実験動物のクローズドコロニーに関する遺伝学的研究 (前年度より継続)
2. 加藤秀樹. コモンマーモセットの遺伝学的研究 (前年度より継続)

**15 新聞, 雑誌等による報道**

該当なし